

平成25年度

事業計画書

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日

公益財団法人 日本サイクリング協会

本協会は、生涯スポーツとしてのサイクリングの普及と振興、サイクリング環境の整備及びサイクリングに関する総合的な事業を行い、その健全なる発達に努めるため、自転車走行のルールへの遵守とマナーの向上、正しい乗車、正しい整備等を実践する「正しいサイクリング」と健康維持と体力向上につながる「楽しいサイクリング」の普及活動を通じ、質の高い余暇活動、生涯学習としてのサイクリングの提唱と自転車を取り巻く社会環境の整備推進にあたる。

もって円滑な交通社会の実現に寄与するとともに、国民の健康増進と生活環境の向上に資することを目的として、下記の事業を実施する。

◎公益事業振興補助事業

1. 指導者の育成等事業

指導者養成講習会の開催

本事業は一般社会における自転車の地位向上とそれを取り巻く環境の向上を目的に、自転車に関する正しい知識と最新の技術を身につけ「正しいサイクリング」を積極的に実践できるサイクリング指導者を育成するため、その基礎の資格となるサイクリング・リーダーを養成する講習会を開催し、受講修了者を本協会指導者として登録し公認する。

なお、本年は4都道府県サイクリング協会の協力を得て開催する。

また、公認指導者資格のサイクリング・インストラクターの検定試験、サイクリング・ディレクター1、2級の講習会及び検定の内容を担保するため各クラスの講習カリキュラムに沿った内容のサイクリング指導者用テキストの充実を図る。

2. サイクリング大会開催事業

全国の都道府県サイクリング協会の組織と所属する公認指導者を活用し、安心・安全なサイクリング大会を開催し、広く一般市民に提供する。

この大会は、野外活動として初心者から上級者までサイクリングを手軽に楽しんで頂ける基本的な内容とし、自転車愛好者相互の交流で「楽しいサイクリング」を実現し、国民の健康維持と体力向上を通じて自転車と人にやさしい健康で快適な社会作りを目指す。

(1) 全国サイクリング大会の開催

サイクリングに対する関心を全国的に高めるため、全国の自転車愛好者に参加を呼び掛け、全国サイクリング大会を開催し、自転車愛好者の拡大とサイクリングの普及促進に努める。

大会は全国7ブロックの地域持ち回りで、該当するブロックの担当都道府県サイクリング協会の協力を得て年1回開催する。

本年度は関東甲信越ブロックの千葉県サイクリング協会が担当し開催する。

開催場所及び日程：千葉県 館山市周辺 9月15日（日）～16日（月・祝）

(2) ブロックサイクリング大会の開催

全国の7ブロック地域において、サイクリングに対する関心を高めるため、主に当該ブロック地域内の自転車愛好者を対象とし、全国サイクリング大会の開催ブロックを除く他の6ブロックにおいて、各々のブロック内の担当県サイクリング協会の協力を得て開催し、自転車愛好者の拡大とサイクリングの普及促進に努める。

各ブロック大会の開催場所及び日程

北海道ブロック	：北海道遠軽町	9月 7日 (土)～ 8日 (日)
東北ブロック	：山形県上山市	9月14日 (土)～15日 (日)
中部日本ブロック	：静岡県浜松市	5月25日 (土)～26日 (日)
近畿ブロック	：滋賀県長浜市	9月28日 (土)～29日 (日)
中国・四国ブロック	：山口県下関市	9月29日 (日)～30日 (月)
九州ブロック	：宮崎県下の開催で調整中	

(3) 県サイクリング及びサイクルスポーツ大会の開催

各都道府県の地域レベルに対するサイクリングの関心を高めるため、主に当該地域の自転車愛好者を対象とし、各都道府県サイクリング協会の協力得てセンチュリーランやMTB大会等、地域の特性を活かしたサイクリング大会等を年間30回開催し自転車愛好者の拡大とサイクリングの普及振興を図る。

3. 特別普及奨励事業

「楽しいサイクリング」を更に推進するため、野外活動の応用的なエッセンスを持つサイクリングであるヒルクライムや耐久サイクリング等を開催し、自転車愛好者にチャレンジ性の高いサイクルイベントを提供する。

またそれぞれの分野毎に最新のユーザーニーズを取り入れ、新たな自転車愛好者を開拓する。

事業運営に関しては、本協会と地方公共団体等の協力により、事業該当地域内で円滑に事業を推進し、自転車による地域振興に寄与し、以て当該地域の活性化とサイクリングの普及発達を図る。

(1) 蔵王ヒルクライム大会の開催 5月18日(土)～19日(日) 予定

東北エリア中部において全国の自転車競技愛好者に、自己の体力面、技術面、精神面でチャレンジするヒルクライム大会を開催し、完走による究極の達成感を求めるヒルクライム愛好者のニーズと、宮城県蔵王エリアの地域振興を図るため、日本の蔵王ヒルクライム・エコサイクリング大会を開催する。

(2) シティサイクリング大会の開催 9月22日(日) 予定

本大会の手本となったバイクニューヨーク(平成24年度は39,000名参加)と公式提携を行うことにより、東京の都心部で多数の自転車愛好者が自転車の快適性をアピールして、自転車でゆっくりとサイクリングできる都市型サイクリングのモデルケースとして東京シティサイクリング大会を開催する。

(3) Mt. Fuji Ecoサイクリング大会の開催 9月7日(土)～8日(日) 予定

日本を代表する富士山において、世界文化遺産登録を推進するため、山麓を一周するロングライドのサイクリング大会を開催し、自然環境保護に対する自転車の存在価値をアピールするMt. Fuji Eco・サイクリングを開催するとともに、環境保全を意識するイベント等を同時開催する。

(4) 耐久サイクリング大会の開催 8月10日(土) 予定

最近のマラソンブーム、ウォーキングブームや自転車ブームにより、一般道路やサイクリングロード等の同じフィールド内におけるランナーや歩行者と自転車の接触事例が顕著化している事態を踏まえ、他の交通を気にせずスピードサイクリングを思う存分楽しむ環境を提供するため、自転車競技愛好者が比較的に多く在住する首都圏に近い筑波サーキットにおいて、全日本耐久サイクリングinつくば(10時間)を開催する。

4. 神宮外苑サイクリングコース運営事業

自転車道路に対する社会の認識向上を図るため、大都市における安全で快適な自転車利用の場として、我が国最初の自転車道路に指定された神宮外苑の周回コースを毎日曜及び休日(年間約65回)は自動車の交通規制し、来場者に自転車無料貸出し業務を行うとともに、コース内の一部において本協会公認指導者等による自転車に乗れない人を対象として自転車の乗り方教室を開催する。

また、春・秋には、四谷警察署等と共催して、自転車の交通安全運動を展開する。

5. 自転車乗用に関する調査研究事業

本協会内にスポーツ用自転車及びサイクリング環境に関する様々な知識を有する者を委員とする自転車乗用に関する調査研究委員会を設置し、サイクリングの普及発達に資するサイクリング環境の改善等のテーマを定めて調査研究を行い、地方自治体等に調査研究報告書をもとに提言を行う。

本年度は、増加傾向の地域振興策としてサイクリングを取り入れようとする地方自治体等に対し、どのようなサイクリングをイメージすれば地域振興に有効なのかについて「ライフスタイルにおけるサイクリング活用のあり方」というテーマのもとに調査研究を行う。

6. 自転車に関する広報事業

世界の自転車先進国の仲間入りができるような自転車文化を育むため、自転車愛好者は勿論、サイクリングや自転車に関心を持つ全ての人々を対象に、本協会が率先して発信しなければならない様々なサイクリングの楽しみ方、自転車乗用に関するルール・マナー、自転車の乗り方、自転車の扱い方等の「正しいサイクリング」と「楽しいサイクリング」に関する情報等を掲載した情報誌「サイクリングジャパン」を年4回発行する。

◎自主推進事業

1. ブロック別会議の開催事業

サイクリング普及事業を円滑に推進するため、全国7ブロック（北海道、東北、関東甲信越、中部日本、近畿、中国・四国、九州）に所属するサイクリング協会の代表者とサイクリング普及に関する各種情報交換や事業運営等について会議を開催する。

2. 無料法律相談の開設

本協会に顧問弁護士を置き、自らが自転車乗用の模範となる意思を持った賛助会員の「安心」を担保し支援するため、賛助会員の主に自転車に係る問題の無料法律相談所を開設する。

3. 指導者登録証作成交付事業

本協会公認指導者のサイクリング・リーダー、サイクリング・インストラクター及びサイクリング・ディレクターの活動が円滑に行えるように、新規登録、更新時に指導者登録証を作成し交付する。

4. サイクリングツアー啓発のための基盤整備事業

地域観光にサイクリングを取り入れ、国民が手軽にサイクリングを楽しめ、安心安全に参加できるサイクリングツアーを旅行会社が企画できるよう、情報提供、自転車メンテナンス、走行管理、レスキュー体制、保険制度の充実等、スムーズな運営に必要なサイクリングツアー全般のインフラを整備する。

5. サイクリング普及推進事業

全国各地で企画立案されているサイクリング大会等の開催実現に向けて、当該地域の各都道府県サイクリング協会を中心に、サイクリングの普及振興策について先進事例の紹介や国の観光施策などの最新情報を基に事業運営について創意工夫等の助言・助成や協力を行い、サイクリングによる新たな事業を展開する。

6. 交通安全推進事業

これからサイクリングを始めようとする人々を対象に、自転車のルールや安全な乗り方を伝えるサイクリングセミナーを開催するとともに、神宮外苑サイクリングコースや全国のサイクリング大会において自転車安全教室を開催する他、各地で行われる自転車交通安全教室に講師の派遣要請に応じ、セミナー用資料の提供を行う。

7. 耐久サイクリング in 袖ヶ浦の開催

11月 2日（土）予定

スポーツバイク愛好者が数多く在住する首都圏の千葉県袖ヶ浦サーキットにおいて、本協会の長年に亘って蓄積されたサイクルスポーツイベント開催のノウハウを投入し、他の交通に影響を受けず安心安全の環境のもと、自転車愛好者のビギナーからベテランまでを対象にした耐久サイクリング大会を開催する。

8. 賛助会員拡大推進事業

「楽しいサイクリング」の普及のみならず、「正しいサイクリング（ルールの遵守・正しい乗車・正しい整備）」を行える自転車愛好者の増員が一般社会の要望である。このような背景を捉え「サイクリスト誓言」を制定して自転車走行安全宣言を行い、自らが自転車乗用の模範となる意思を持って世の中にアピールする賛助会員の拡大を円滑にするためIT関連の整備・充実を図る。

特に賛助会員管理における個人情報保護の強化、会員入会手続きの円滑性、正確性、迅速性に重点を置いて実施する。

◎協力事業

1. 運営強化協力事業（主催事業）

実行委員会等の事業運営に積極的に人材等を派遣し、その事業の主体を本協会が
為し得る事業。

サイクリングターミナル関係事業

ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会 長野県松本市美ヶ原高原
(6月29日～30日開催予定)

全日本マウンテンサイクリング in 乗鞍 長野県松本市乗鞍高原
(8月31日～9月1日開催予定)

信越五高原ロングライド 長野県飯山市周辺
(9月28～29日開催予定)

しまなみ海道・国際サイクリング大会・プレ大会 愛媛県今治市周辺
(10月19～20日開催予定)

2. 運営強化協力事業（後援事業）

事業運営に対し本協会が助言等を行い運営している事業。

ツール・ド・草津 群馬県草津町（群馬県サイクリング協会）
(4月16日～17日開催予定)

ファイブ ボロー バイク ツアー (BIKE NEW YORK)
アメリカニューヨーク市
(5月 6日開催)

時空の路ヒルクライム in 会津 島県会津地方(福島県サイクリング協会)
(5月19日～20日開催予定)

矢島カップ・Mt 鳥海バイシクルクラシック 秋田県由利本荘市
(7月28日～29日開催予定)

ホノルルセンチェリーライド アメリカハワイ州
(9月29日開催)